

【教育目標】

進んで学ぶ子ども  
思いやりのある子ども  
たくましい子ども



# 夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.16

令和3年2月1日

中央台東小学校

校長 林 和樹

## 「感染予防・拡大防止策の徹底」と「学校生活」の両立を目指して

本市では、昨年12月28日に始まった「**感染防止集中対策一斉行動**」を2月7日まで期間を延長、新型コロナウイルス感染症への「**最大限の警戒と感染防止対策の再徹底**」を強く要請しています。また、「『**新しい生活様式**』を踏まえた学校の行動基準における対応『**レベル2**』に引き上げる」との通知を市教育委員会が発出。学校では、「**児童と同居する家族に発熱等の風邪症状が見られる場合も出席停止の措置**」をとっています。そのため、各ご家庭においてお子さんに加え、ご家族の皆様にも毎朝の検温や健康観察を行っていただき、症状があった場合はその日の登校を見合わせていただくなど、ご苦労とご心配をおかけしていることをたいへん申し訳なく思っております。しかし、本市では、連日、複数名の感染が確認され、また、福祉施設に続き、個人宅での会食によるクラスターも発生するなど感染が拡大しています。改めて、**家庭での感染対策も大切**であると感じます。子どもたちが安心して登校できるように、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本校においても、**全校生や複数学年での集会活動を停止、学年集会も必要最低限に制限**し「三密(密閉・密集・密接)」を避けるとともに、**感染リスクの高い次の活動を停止・制限**するなど、これまで以上に**感染対策を強化徹底**しています。

- 各教科等：**長時間、近距離で対面形式**となるグループワーク等  
**近距離で一斉に大きな声**で話す活動
- 音楽：**室内で近距離**で行う**合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ**等の管楽器演奏
- 家庭：近距離で活動する**調理実習**
- 体育：**密集**する運動、近距離で**組み合ったり接触したり**する運動

誰もがいつ感染しても  
不思議ではない状況

**濃厚接触者にしない  
クラスター発生を防ぐ**

現在、新規感染者数が減少、緊急事態宣言等の取組の効果が現れてきていると思われていますが、未だ予断を許さない状況が続き、市長が「**感染拡大防止の正念場**」とのメッセージを出しています。今後の感染状況によっては、「**感染防止集中対策一斉行動**」の再度の延長も懸念されます。

「レベル2」では、制限される活動が多く、**子どもたちの負担やストレスが心配**です。そのため、「学校生活」における日々の**ゆとりやうるおいを無くさない**ように気をつけながら、子どもたちが**のびのびと過ごせる時間や場を十分に確保**するように努めています。

## 鼓笛隊の練習及び引き継ぎ式について

前述の通り「レベル2」の期間中は、様々な活動が制限され、明日(2日)の「鬼払い集会」も恒例の体育館ステージ上からの豆まきは取りやめ。残念ながら全校生での集会はできませんが、代表委員の子どもたちが中心となって放送等を利用し実施します。古来より「無病息災」の願いをこめて行われてきた節分の豆まきです。「コロナに負けない」楽しい集会にしたいと思います。

さて、学校の伝統を引き継ぎ、また、4・5年生に上級生としての自覚を促す絶好の契機である**鼓笛隊の練習がコロナ禍のため行えず**にいます。何とか実施できないかとぎりぎりまで検討を続けてきましたが、現状を鑑みると、**今後の2・3月も困難**かと思われます。たいへん残念ですが、進級・卒業に向けて最も大切なこの時期を、ゆとりをもってまとめや準備に取り組めるようにするために、今年度の**鼓笛隊の練習及び引き継ぎ式は中止**することにしました。

そのため、現在、次年度の教育課程編成作業の検討において、4月中旬の開催を予定している「**春の大運動会**」では**鼓笛隊による演奏は難しい**と考えています。楽しみにして下さっている保護者の皆様にはたいへん申し訳ありませんが、何とぞご理解のほどお願いいたします。